

OECD開発援助委員会(DAC)開発協力対日相互レビュー(Peer Review)
第2回ODA政策協議会用

2019年12月12日

外務省国際協力局開発協力企画室

1. 概要

- ・ 各DACメンバーの開発協力政策や実施状況を定期的に審査。DACのメンバー(2ヶ国)が相互に審査国を務めることによる「相互学習」の側面も有する。通常は4～5年に1回実施(前回の対日審査は2013/14年に実施)。
- ・ 今次レビューは、EU及び伊が審査国を務め、DAC事務局と共に審査団を構成(別添1:審査団リスト)。

2. 相互レビューの流れ・日程

- ・ 我が国提出のメモランダムに基づき、審査団が本国審査(於:東京)及びフィールド調査(於:ガーナ,カンボジア)を実施し、審査報告書案を作成。審査会合(於:パリ)で、被審査国に対する提言を採択し、審査報告書がOECDのホームページに公表される。
- ・ 今次レビューの日程(予定):
 - ① 2019年11月25-29日:本国審査(於:東京)
 - ② 2019年12月 9-13日:第1回フィールド調査(於:ガーナ)
 - ③ 2020年 1月13-17日:第2回フィールド調査(於:カンボジア)
 - ④ 2020年 6月24日:審査会合(於:パリ)

3. 本国審査の概要

- ・ 2019年11月25-29日、審査団が東京を訪問し、国会議員、関係省庁、JICA、民間企業、NGO、有識者等からのヒアリング及び意見交換を実施。
- ・ NGOとの意見交換は28日午前中に実施。このほか、NGOから審査団に対し、書面での意見提出がなされた。
- ・ ヒアリング及び意見交換の結果は、今後行われるフィールド調査と併せ、審査団が作成する審査報告書の土台となる。

(了)